

気候変動と 途上国の森林を考える 2日間

グリーン・エコノミーの時代における熱帯林保全

2/7 木・8 金

10:00-17:15
(開場 9:30)

会場:早稲田大学国際会議場 井深大記念ホール
(東京都新宿区西早稲田)

参加費:無料 日本語/英語(同時通訳)

【基調講演】赤堀 聡之 林野庁研究・保全課 森林吸収源情報管理官
Arild Angelsen ノルウェー生命科学大学教授/国際林業研究センター(CIFOR)

2/7 木 参加型セミナー

■ REDDって何? 植林からREDDプラスへ

セッション1 熱帯林の減少とREDDプラス
セッション2 企業活動と熱帯林保全
セッション3 市民生活と熱帯林保全
グループ討議 熱帯林保全に向けて私たちは何をすべきか
パネルディスカッション
熱帯林保全活動からREDDプラスへ

■ 詳細情報・参加申込

事前に登録サイトからお申し込み下さい。

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/redd-rdc/ja/>



JR 山手線 高田馬場駅から徒歩20分 学バス 高田馬場ー早大正門
地下鉄東京メトロ 東西線 早稲田駅から徒歩10分/副都心線 西早稲田駅から徒歩17分

2/8 金 技術セミナー

■ REDDプラスphase3へのシナリオ

基調講演 「REDDプラスに関する国際交渉の動向」
赤堀 聡之
(林野庁研究・保全課 森林吸収源情報管理官)
「REDDプラスを分析するー課題と選択ー」
Arild Angelsen
(ノルウェー生命科学大学教授/CIFOR)
セッション1 国家森林モニタリングシステムの構築
セッション2 セーフガードとコベネフィット
セッション3 プロジェクトレベルからのスケールアップ
パネルディスカッション
REDDプラス実現に向けた課題

【主 催】独立行政法人 森林総合研究所
【共 催】早稲田大学環境総合研究センター、独立行政法人国際協力機構(JICA)、国際熱帯木材機関(ITTO)、地球環境戦略研究機関(IGES)
【後 援】林野庁、外務省、環境省、経済産業省、日本森林学会、日本熱帯生態学会、日本リモートセンシング学会、日本写真測量学会
【事務局】REDD研究開発センター(独立行政法人森林総合研究所内)
【問合先】独立行政法人森林総合研究所 REDD研究開発センター E-mail: redd-rd-center@ffpri.affrc.go.jp Tel: 029-829-8365

気候変動と途上国の森林を考える2日間

グリーン・エコノミーの時代における熱帯林保全

セミナー開催概要

途上国の森林減少・劣化は1960年代から地球規模の問題として認識され、解決策が議論されてきました。しかし、森林減少・劣化は往々にして途上国の経済発展と表裏一体の関係にあり、このことが国際社会において抜本的な対策を見いだす妨げとなってきました。

このような中、近年、地球規模の気候変動対策の観点から、発展途上国における森林減少・劣化に由来する温室効果ガス排出の削減努力に対し経済的インセンティブを与える仕組み、「REDDプラス」が提案され、将来の気候変動緩和策における重要課題の一つとして議論が続けられています。

基調講演者の紹介

赤堀 聡之

林野庁研究・保全課 森林吸収源情報管理官

1986年(平成61年)林野庁採用。国連食糧農業機関(FAO)本部熱帯林行動ユニット、同機関のアジア地域市場経済移行国林業活性化計画(中国林業経済発展研究中心)の専門家を歴任。98年のCOP4以降、気候変動枠組条約締約国会合における森林吸収源、植林CDM、REDDプラスに関する我が国政府交渉官として長年にわたり国際交渉の最前線を担当。

Arild Angelsen

ノルウェー生命科学大学教授／国際林業研究センター(CIFOR)上級会員

途上国における森林減少の原因、対策について長年にわたり研究に従事。現在、ノルウェー生命科学大学の経済学教授として教鞭を執る傍ら、CIFORの会員として国際的なREDDプラス政策に関する研究をリード。2012年、近年のREDDプラス政策に関する動向を分析した「Analising REDD+: Challenges and Choices」(2012,CIFOR)の編集を担当。

セミナープログラム(日英同時通訳)

2月7日(木) 参加型セミナー「REDDプラスって何?～植林からREDDプラス～」	
10:00 オープニングセッション	
主催者挨拶	森田 一行(森林総合研究所総括審議役)
導入	松本 光朗(森林総合研究所REDD研究開発センター長)
10:20 セッション1 熱帯林の減少とREDDプラス	
藤間 剛(森林総合研究所国際研究推進室)	
10:45 セッション2 企業活動と熱帯林保全	
● 森川 靖(早稲田大学)	
● 栗野 美佳子(WWFジャパン)	
● Raimo Aly Baraca (モザンビーク共和国ガザ県農業局森林野生生物課)	
● 中西 武志(カーボンフリーコンサルティング㈱)	
● 藤田 香(日経BP社)	
12:05 昼休み・ポスターセッション	
13:00 セッション3 市民生活と熱帯林保全	
● 村田 佳壽子(ワールドウォッチ研究所)	
● 堀内 千恵子(レインフォレスト・アライアンス)	
● 坂本 有希(地球・人間環境フォーラム)	
● Steven Johnson (国際熱帯木材機関(ITTO))	
14:15 グループ討議 熱帯林保全に向けて私たちは何をすべきか?	
ファシリテーター	坂本 文武(立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科)
15:00 コーヒーブレイク	
15:30 パネルディスカッション 熱帯林保全からREDDプラスへ	
16:45 クロージングセッション	
松本 光朗(森林総合研究所REDD研究開発センター)	
17:15 閉会	

2月8日(金) 技術セミナー「REDDプラス phase3 へのシナリオ」	
10:00 オープニングセッション	
主催者挨拶	鈴木 和夫(森林総合研究所理事長)
来賓挨拶	篠田 幸昌(林野庁次長)
導入	松本 光朗(森林総合研究所REDD研究開発センター長)
10:20 【基調講演】	
● 「REDDプラスに関する国際交渉の動向」 赤堀 聡之(林野庁研究・保全課森林吸収源情報管理官)	
● 「REDDプラスを分析するー課題と選択ー」 Arild Angelsen(ノルウェー大学教授／CIFOR)	
11:00 セッション1 国家森林モニタリングシステムの構築	
● 平田 泰雅(森林総合研究所温暖化対応推進室)	
● Nguen Dinh Ky(ベトナム国ディエンビエン省農業地方開発局)	
● Thelma Krug(ブラジル国立宇宙研究所(INPE))	
12:00 昼休み・ポスターセッション	
13:00 セッション2 セーフガードとコベネフィット	
● 山ノ下 麻木乃(地球環境戦略研究機関(IGES))	
● Riziki Silas Shemdoe(タンザニア アルディ大学)	
● Ian Thompson(カナダ森林局)	
14:00 セッション3 プロジェクトレベルからのスケールアップ	
● 松本 光朗(森林総合研究所REDD研究開発センター)	
● Summer Montacute (Verified Carbon Standard (VCS))	
● Thong Eth Phayvanh (ラオス林野局)	
● Claudio Schneider (コンサベーション・インターナショナル・ペルー)	
15:15 コーヒーブレイク	
15:45 パネルディスカッション REDDプラス実現に向けた課題	
16:45 クロージングセッション	
松本 光朗(森林総合研究所REDD研究開発センター)	
17:15 閉会	
18:00 懇親会 大隈記念タワー15階レストラン「西北の風」(会費制)	